

7/15  
福井民報

## 安保法案のぐる意見書

福井市議会

十五日にも衆議院特別委員会での採決が行われる安全保障関連法案をめぐり、福井市議会は十四日、法案の徹底審議を求める意見書の提出を継続審査とした。

事実上の審議回避で議員の姿勢が問われそうだ。

意見書の提出は市民団体からの請願を受け、二日の市議会総務委で審議。委員八人のうち一人が賛成したのに対し、過半数が継続審

査とした。継続審査の場合、本会議では討論でき

ない申し合わせがあるため、十四日は意見書についての議論はなく、閉会した。

今国会の会期末は九月二十七日。一方、市議会の九月定例会は例年、九月下旬までかかり、仮に最終日に請願を採択しても、効果がない可能性が高い。

議会としての意思を示さ

ないことに、総務委で提出に賛成した委員は「事実上の不採択」と指摘した上で、「安易に継続審査としたことには疑問の声を上げたい」と話した。

法案をめぐっては、中部六県の二百四十四の地方議会のうち、少なくとも九十議会が、反対や慎重審議を求める意見書を可決。県内では越前市議会が「国民合意のないままに安全保障法制の見直しを行わないよう求める」意見書を採択した。

(高橋雅人)